

令和2年第5回（9月）上越市議会定例会

文教経済常任委員会資料【所管事務調査】

上越市学校施設長寿命化計画の策定について	・・・・・・・・	1～2
上越市学校施設長寿命化計画（案）	・・・・・・・・	別冊

所管委員会	文教経済常任委員会
提出課	教育総務課

上越市学校施設長寿命化計画の策定について

I 策定理由

- 文科省より、令和2年度内に学校施設の長寿命化計画の策定要請があり、本計画の策定が令和3年度以降の国庫補助金の採択要件となる。

II 長寿命化計画とは

- 本計画は、学校施設の40年程度の改築時期を、長寿命化改修を行うことにより、80年程度まで延長させることを目的にした理念や考え方、手法をまとめた【方針計画】であり、個別具体的な改修内容や優先順位を定める【実施計画】とは異なる。
 - 国の手引きにより構成が示されているため、各自治体とも計画内容はほぼ同様となっている。
- ※計画に掲載している、今後の改修経費の見込み等のグラフや表については、国から提供を受けた標準的改修ソフトを活用し作成

III 計画概要

1 学校施設の長寿命化計画の背景、目的等

(1) 背景

- 市内の学校施設の多くは建替時期を迎えており、今後、コストの増高が懸念され、加えて多様化する学習環境の変化など、機能向上が求められている。
- 近年の厳しい財政状況の中、施設の安全性の確保と機能向上を図りながら、将来を見据えたトータルコストの縮減と平準化を図るべく、計画的かつ効果的な改修等を行っていく必要がある。

(2) 目的

- 学校施設の総合的かつ計画的な管理により、教育環境の維持・向上やコストの縮減・平準化を図り、適切な維持管理を行いながら、長寿命化を推進する。

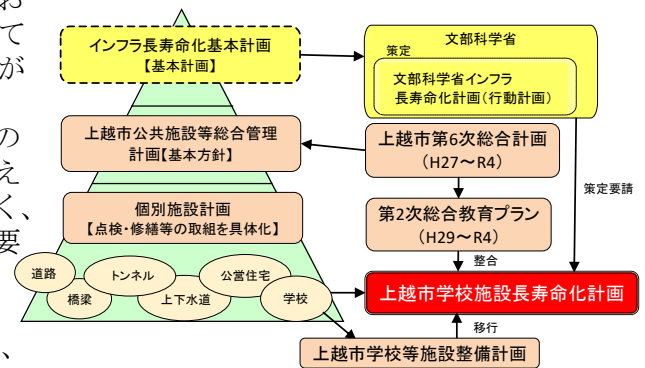
(3) 位置付け (右図参照)

- 従前の上越市学校等施設整備計画を継承し、改定の上、上越市公共施設等総合管理計画【基本方針】の個別施設計画として位置付ける。

(4) 計画期間

- 上位計画である「上越市公共施設等総合管理計画【基本方針】」とあわせて、令和12年度までの計画とする。
- 5年程度を目安に、学校を取りまく環境の変化や事業の進捗状況、施設の劣化状況等を確認し、必要に応じて見直しを行う。

【体系図】



2 学校施設の目指すべき姿

- ① 安全・安心な学校施設
- ② 全ての子どもたちが支障なく学べる学校施設
- ③ 快適な教育環境が整った学校施設
- ④ 地域に愛される学校施設
- ⑤ 将来コストが抑制された学校施設

3 学校施設の実態

(1) 学校施設の運営状況、活用状況等の実態

- 人口減少に伴い、児童生徒数、学級数の減少が続いている。
- 築40年以上の学校施設が全体の43%を占めており、今後、建替時期を迎えることから、従来型の改築中心の施設整備では財政状況に多大な影響を及ぼすことが懸念される。

※対象施設分布、児童生徒数及び学級数の変化、施設関連経費の推移、学校施設の保有量、今後の維持・更新コスト(従来型)をグラフや表を用いて現状と見込みを整理

(2) 学校施設の老朽化状況の実態

- ・屋根・屋上、外壁は計画的に改修を行ってきたが、電気・機械設備は保全的な更新等は基本的に行っていないため、劣化度が進んだ状態にある。
 - ・施設の寿命を80年とする長寿命化型の施設整備を図ることで、コストの平準化に一定の効果が見込まれる。
- ※構造躯体及び建築設備の健全評価（劣化状況）、今後の維持更新コスト（長寿命化型）のグラフを用いて現状と見込みを整理

4 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

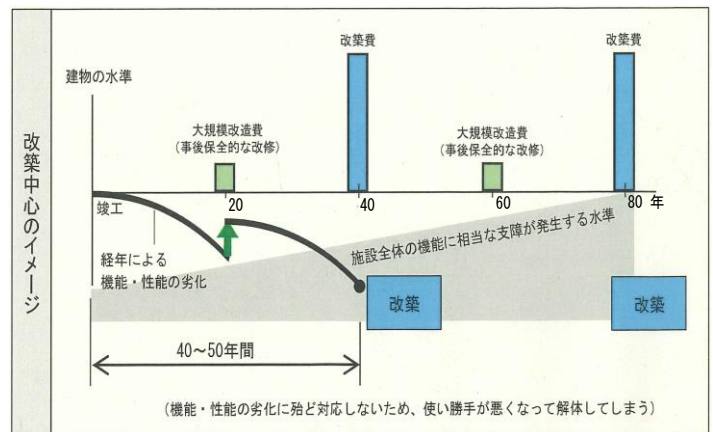
- ・上越市立小中学校適正配置基準に基づき、学校施設の適正配置を推進する。
- ・施設の定期的な点検や診断等を実施し、安全性向上と防犯対策の強化を図る。
- ・従来型の事後保全改修から長寿命化型の予防保全改修を推進し、施設整備を計画的に実施する。

(2) 改修等の基本的な方針

- ・従来型の改修から長寿命化型の改修を推進することにより、コストの平準化と縮減を図る。
- ※長寿命化型の改修を効率的に進めるため、屋根や外壁など改修周期の目安を設定

5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

- ※長寿命化型の改修は、単に建築時の状態に回復するものではなく、安全性や耐久性、機能向上や多様性を確保するためのものであるため、外装仕上など項目別に整備水準を設定

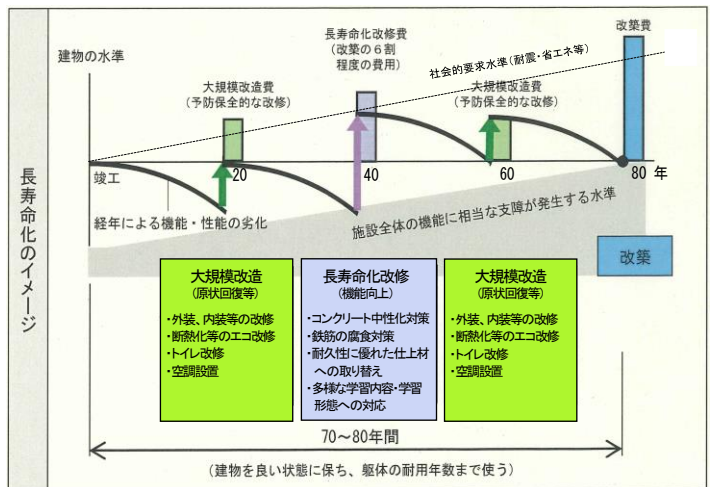


6 長寿命化の実実施計画

- ・改修工事の優先順位は、築年数・改修履歴・劣化状況調査結果などを基に決定する。
- ※今後5年間の実施計画（案）を掲載
- ・長寿命化による取組と並行して、学校施設の再配置、財源確保等を総合的に進める。

7 長寿命化計画の継続的運用方針

- ・工事履歴、整備内容の状況（カルテ）、点検記録の整備等のデータベース化・活用
- ・学校、営繕部局、財政部局との連携
- ・事業の進捗状況や劣化調査等の結果を確認しながら、5年ごとに本計画の定期的な見直しを実施



IV 今後のスケジュール（案）

日程	内容
10月	教育委員会定例会議決・決定
11月	公表・国への報告